教科書 p.288～289

年	組	番
名前		

探究力 UP ワークシート

⑨ 経済連携によってもたらされるものは何か？

■資料読解の問い

ASEAN と EU の共通点と相違点は何だろうか？

STEP 1　既習事項の確認〔知識・技能〕

1　ASEAN と EU 発足の背景を、教科書 p.246 や教科書 p.280 を参考にそれぞれ書き出そう。

2　2020 年にイギリスが EU から離脱した。EU に加盟することの利点と課題を、教科書 p.280～281 と教科書 p.286 ～287 を参考に説明しよう。

STEP 2　資料の読解〔思考・判断・表現〕

1　アメリカ合衆国や中国と比較した際の ASEAN と EU の特徴を、教科書 p.288 図 2・教科書 p.288 図 3 から考え、それぞれ説明しよう。

2　ASEAN と EU の共通点と相違点を、教科書 p.288 図 2・教科書 p.288 図 3 から考え、次の語句を用いて説明しよう。

【　人口構成　産業構造　】

■国土像探究に向けて

経済連携による日本側の利点と課題を探究しよう。

STEP 3　自身で探究〔思考・判断・表現〕

1　財務省関税局のウェブサイトで、あなたの生活に身近な外国製の商品が、どれくらいの関税率で輸入されているのか、調べよう。また、教科書 p.289 図 4 を参考に、日本と自由貿易協定（FTA）や経済連携協定（EPA）（→教科書 p.163）を結んでいる国・地域を一つ選び、両国・地域間の具体的な自由化の内容を調べよう。

2　STEP 3 の 1 で調べた国・地域との FTA・EPA によって生じる日本側の利点と課題、その根拠を挙げよう。また、FTA・EPA によって生じる課題を解決する方法を考え、教科書 p.289 図 6 のように整理しよう。

FTA・EPA 締結国：		
	日本への影響	根拠
利点		
課題		
課題の解決策		

STEP 4　協働・まとめ〔主体的に学習に取り組む態度〕

1　グループになり、STEP 3 で探究したことを発表しよう。また、今後、日本は経済連携とどのように向き合っていけばよいのかを議論し、ほかの人の意見を聞いて、新たな視点やさらに調べてみたいことなどを書き出そう。

【新たな視点】

【さらに調べてみたいこと】

【そのほか】

振り返り

1　ここまでの学習を振り返って、以下の項目について自己評価をしよう。十分に達成できた項目には◎を、一部は到達できた項目には○を、到達には努力が必要な項目には△を、それぞれつけよう。

ASEAN と EU の共通点と相違点について、それぞれ理解できた。	
日本と FTA や EPA を締結している国・地域を調べ、その国や地域と日本との間でどのような自由化が図られているのかまとめられた。	
FTA や EPA を締結することで生じる日本側の利点と課題をそれぞれ分けて表現し、また FTA や EPA によって生じる課題を解決する方法を考え、ほかの人と議論できた。	